

教職員の勤務状況等調査結果【令和6年9月のまとめ】

令和6年11月 群馬県教育委員会 学校人事課管理係

毎月の勤務状況等調査に御協力いただきありがとうございます。令和6年9月分の勤務状況等調査の集約結果を以下の通り報告いたします。



令和6年9月の状況について

■夏休み明けの9月、運動会の準備などで業務が多くなりがちな時期ではありますが、小学校、中学校、高等学校で、特に45時間以上の方の割合が減少となっております。各学校、先生方の御協力に感謝申し上げます。学校がより働きやすい職場、魅力ある職場となりますよう、今後ともよろしくお願いいたします。

次のページには、令和3年以降の9月の状況を示しておりますが、令和3年9月は、新型コロナウイルス感染症（デルタ株）の拡大による緊急事態宣言下であったことが在校等時間に大きく影響しております。その後、令和4年から段階的に45時間以下の方が増えている状況となっております。

		45H超	80H超
小学校	令和5年9月	21.1%	0.8%
	令和6年9月	16.5%	0.7%
		4.6pt減	0.1pt減
中学校 (義務教育 学校含む)	令和5年9月	49.7%	10.4%
	令和6年9月	45.1%	8.1%
		4.6pt減	2.3pt減
高等学校 (中等教育 学校含む)	令和5年9月	27.2%	5.8%
	令和6年9月	24.9%	5.4%
		2.3pt減	0.4pt減
特別支援 学校	令和5年9月	2.5%	0.0%
	令和6年9月	2.6%	0.1%
		0.1pt増	0.1pt増



「令和6年度 教職員の業務状況等調査」に御協力いただきありがとうございました

■県立・市町村立学校の全校長先生と、抽出校として指定させていただいた学校の教職員の皆様を対象とした「令和6年度 教職員の業務状況等調査」では、お忙しいところ御協力をいただき、誠にありがとうございました。この調査結果については、11月8日に行われた教職員の多忙化解消に向けた協議会において協議資料として活用させていただきました。

今回の調査で各学校の校長先生からいただいた御回答のうち、各校における業務改善の工夫や特筆すべき取組について、自由記述欄に入力されたものを一部紹介いたします。（今回は小中学校の例）

Q 各学校における具体的な業務改善の取組のうち、特筆すべきものがあれば記述してください。

【小学校の例】

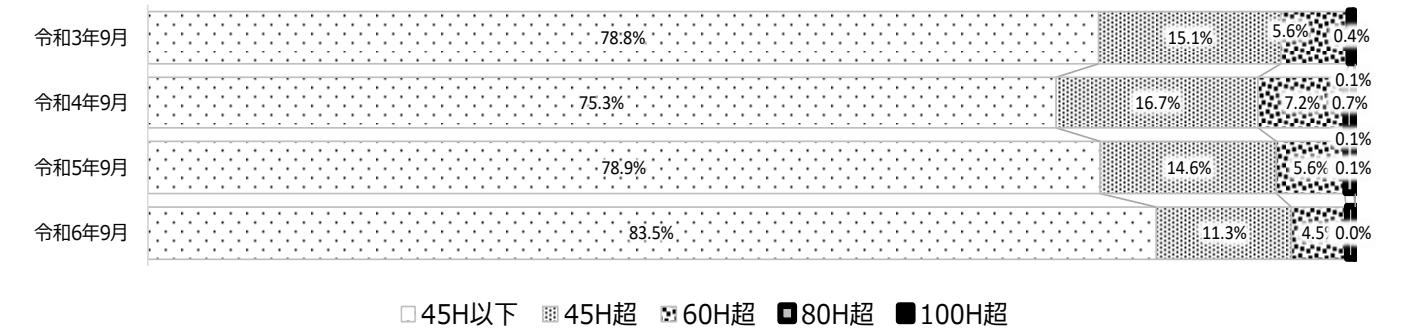
- 校時表を改訂し、朝活動を廃止して下校を30分早めた。各種部活動の練習、大会参加の軽減・廃止。高学年の教科担任制。
- 勤務時間外の留守番電話対応（町教委主導で実施）は、教員の業務改善・時間外勤務の削減に対してとても効果があったと考えられる。
- 学級費、教材費について、保護者通知から口座引き落としまで、事務主任が一元化して処理をしていることが、担任の大きな業務改善となっている。
- 児童玄関の錠を、職員の勤務開始時間と同じ8時15分として、勤務時間前の児童対応が発生しないようにしている。児童が8時15分から8時30分の間に教室に入るような時間設定になっており、保護者には早い時間の登校をさせないよう繰り返しお願いをしている。
- 長期休業中の行事を持たない期間は、うさぎの飼育や校庭の樹木植物の管理を地域ボランティアに委託し、教職員がそのために学校に来ることは不要となった。
- 市費職員の配置により、学校施設の維持管理、特別な支援を要する児童に対する支援、学校図書館の運営、学校給食の運営等が円滑に行えるようになっていく。こうした人材の適切な投入が業務改善には不可欠であると考えます。
- PTA役員の負担軽減のため、会議を無くし、諸行事への協力は保護者のボランティアをその都度募集することとした。
- 放課後のスポーツ活動（週2回）を、学校運営協議会を通して地域の方に見てもらおうようになった（週1回）。
- 夏季休業中の地域行事への参加を取りやめたことで、多忙化解消とともに児童の安全を確保することができた。

【中学校の例】

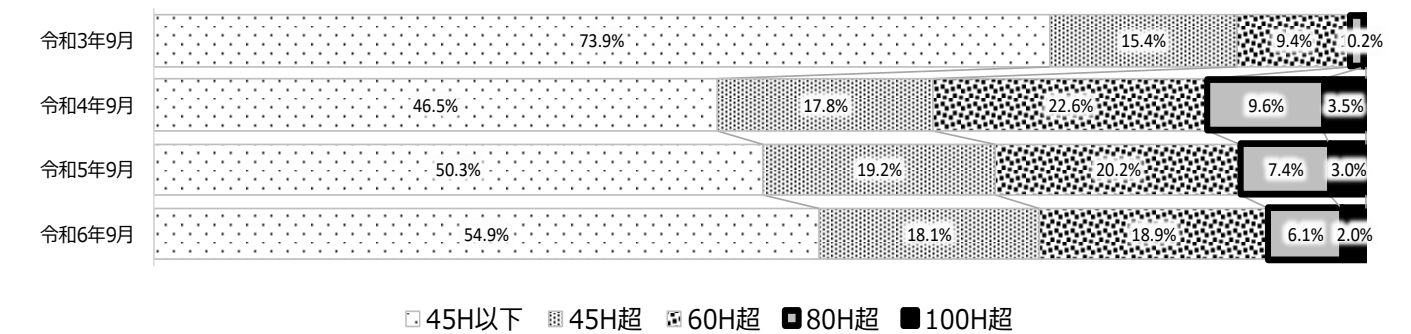
- 学校集会、生徒集会など、月曜日の業前に行っていた活動を放課後、短時間で行うようにした。また、朝読書等の活動を廃止し始業時間を早め、その時間を放課後の部活動に充てることで、下校時間を早めるようにしている。
- 生徒や保護者配付資料をICTを利用することで印刷や丁合の手間が少なくなった。
- コミュニティスクール（学校運営協議会）に関わる行事については、企画・運営等について、委員の方々に積極的に関わるようにしていただいた。
- 預り金の振り込みを市として始めるようだが、先生方の負担軽減になり、とてもありがたい。
- 固定担任制からチーム担任制を導入し、業務を平準化。週時程を見直し、午前授業の日を設定し、会議や研修、事務作業時間等を確保。
- 三者面談の日程希望調査（保護者に直接フォームに入力してもらう。早い者勝ち）また面談する先生も保護者と生徒で選択できるようにした。（副担も選ばれれば面談を行っている。）
- 余剰時数を計算し、2学期の毎水曜日を5時間授業としている。毎週月・木曜日は部活動なしの日としている。
- テスト自動採点システムの導入による、テスト採点の縮小。

時間外在校等時間の状況【9月の経年変化】

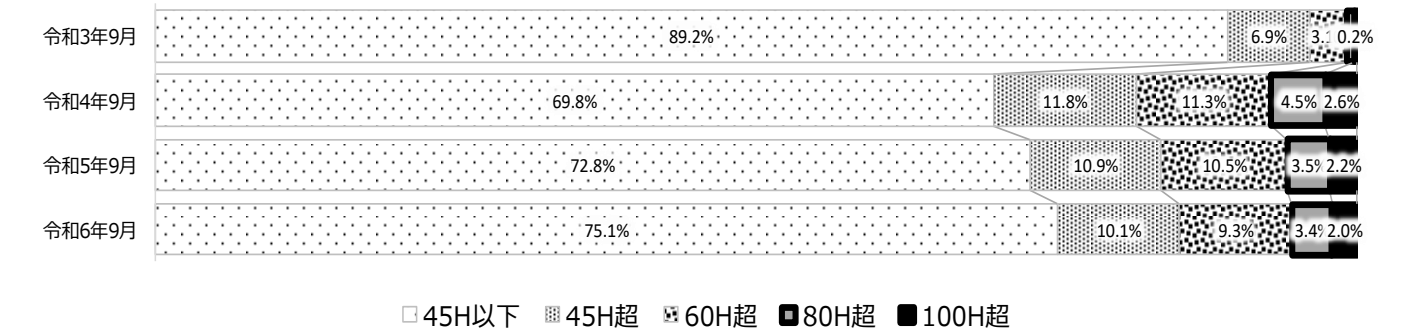
1 小学校の状況



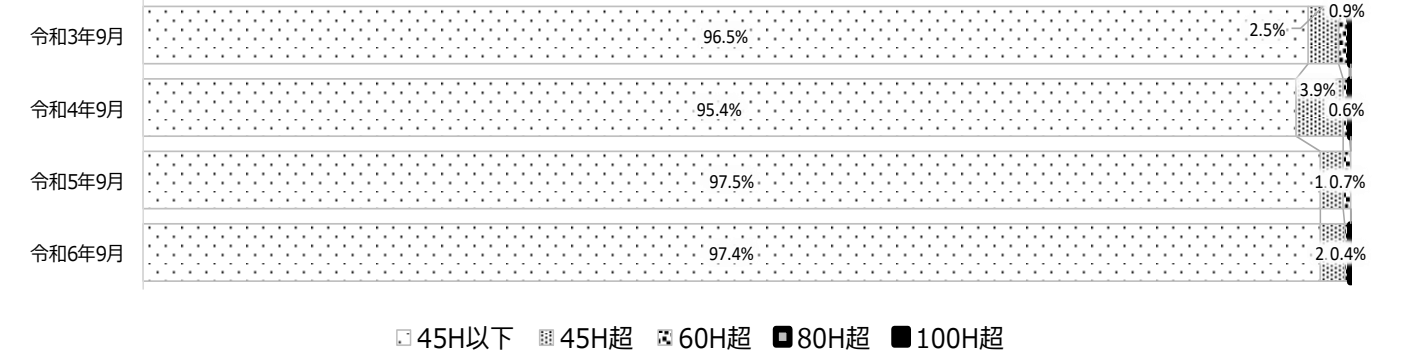
2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校,市立の高校を含む）



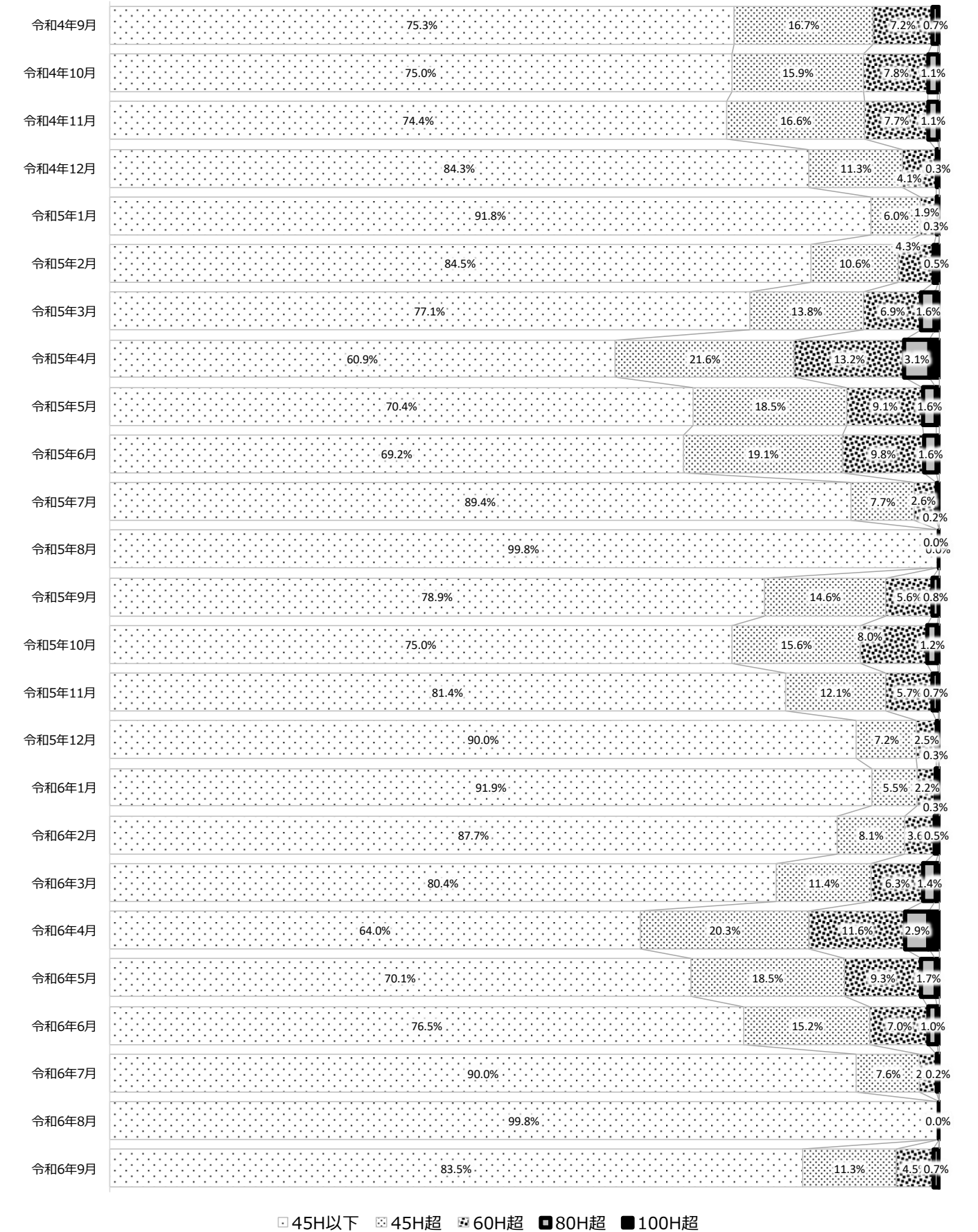
4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）



時間外在校等時間の状況【令和4年9月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

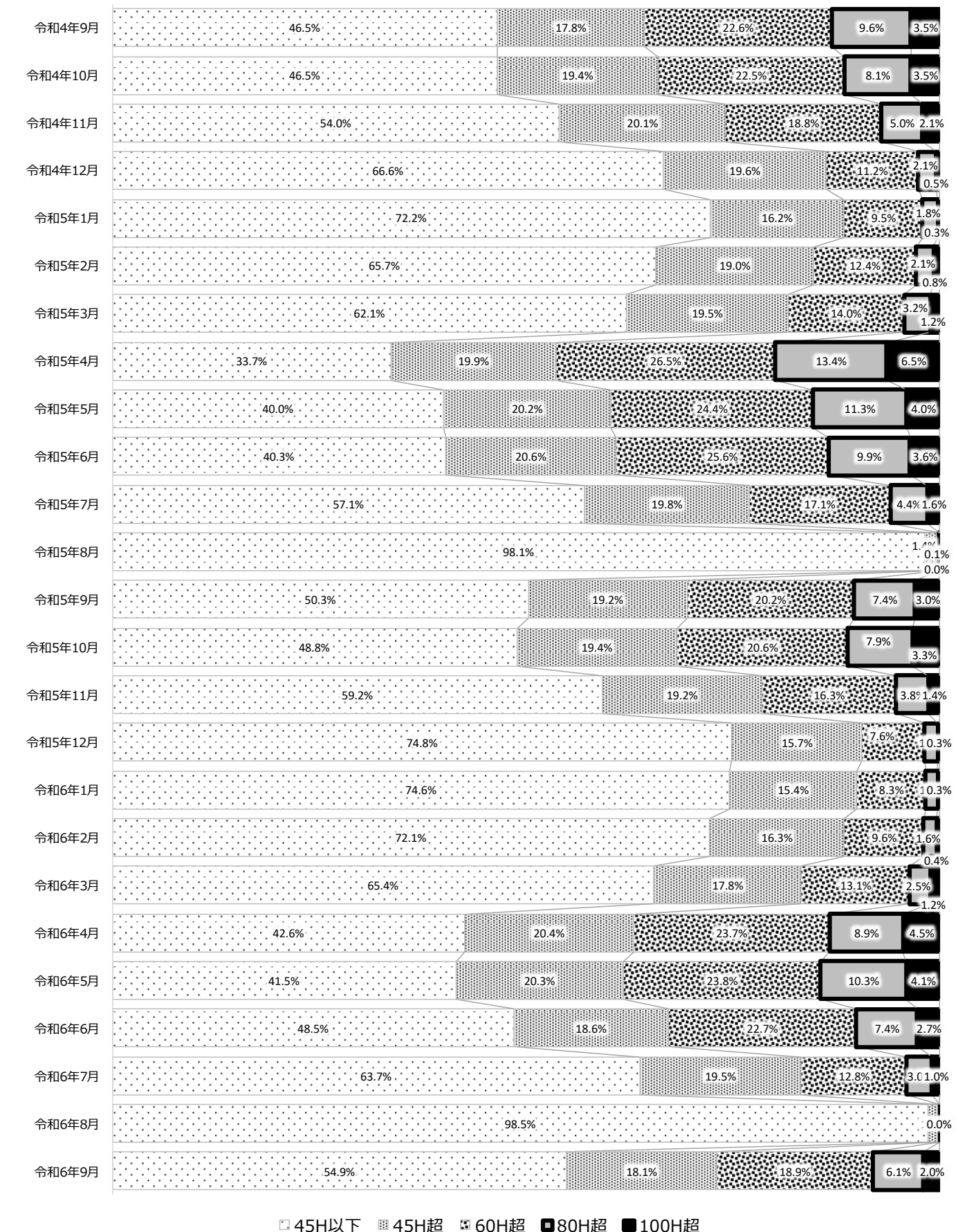
1 小学校の状況



時間外在校等時間の状況【令和4年9月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

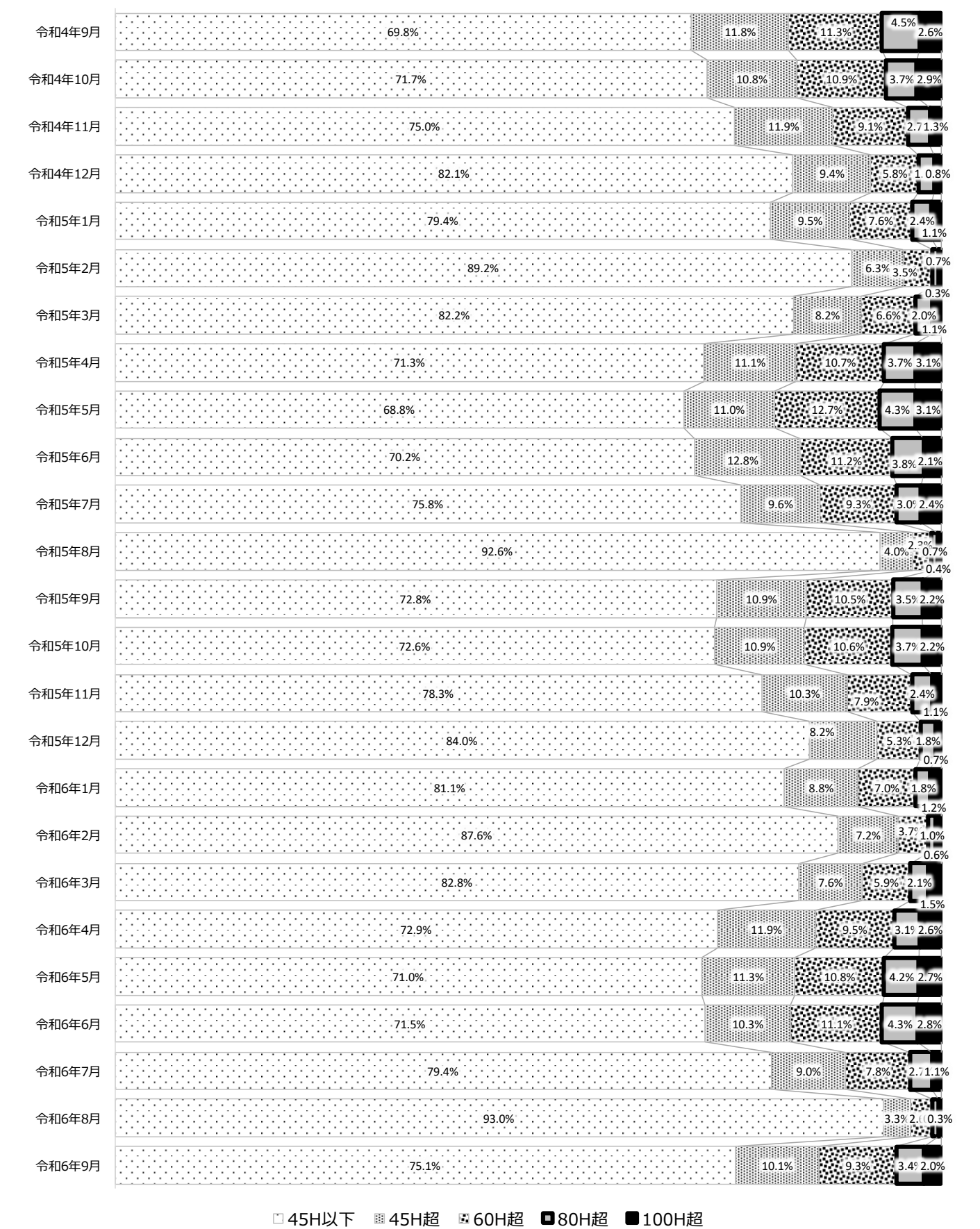
2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



時間外在校等時間の状況【令和4年9月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校含む）



時間外在校等時間の状況【令和4年9月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）

